

命のつながり 前衛ダンスに

神戸を拠点に前衛的なモダンダンスを追究する「藤田佳代舞踊研究所」が29日、神戸の東灘区民センターうはらホール(神戸市東灘区住吉東町5)で「菊本千永モダンダンスステージⅣ」を上演する。「命」をテーマに交差する生死を表現した新作「流れの中で」や、「メッセージ―福島の子の神よ立ち上がれ」など計6作品を披露する。

同研究所は1978年に設立。女性約30人が所属し、意欲的に新作を発表している。

今回は95年から続くソリスト公演シリーズの一環。ソリスト兼教師の菊本さんによる舞台は4回目で、舞台上を死後の世界、舞台上を現世に見立て、過去の多くの生の果てにある生を表現する。

「メッセージ」は、同研究所主宰の藤田さんが振り付けた。菊本さん

藤田佳代舞踊研究所 新作など6作上演



本番に向けて稽古に励むダンサーたち＝神戸市東灘区住吉本町1、藤田佳代舞踊研究所

29日、神戸・うはらホール

が演じる福島の子の神マ。壮大だが一つ一つの表現を積み重ねてしっか

者に見つけ出されて息をり演じたい。

吹き返すという設定。草午後5時半開演。前売

木に生命が満たされていり3千円、当日3500

く様子を、多様な身体表現。同研究所☎078・

現で演じる。822・2066

菊本さんは「ほかの4

(松本寿美子)

作も命のつながりがテ

藤田佳代舞踊研究所公演

菊本千永 モダンダンスステージ IV

“交差する生と死”

11月29日 東灘区民センターうはらホール

藤田佳代舞踊研究所ソリストの菊本千永さんが「モダンダンスステージIV」を十一月二十九日、神戸市の東灘区民センターうはらホールで開きます。

主宰する藤田佳代さんの振り付けによる「メッセージ——福島の上の神よ立ち上がれ」を加えた六作品です。

今回のプログラムは、前回(二〇〇八年)のあと、菊本さんがつくりだしてきた作品の中から選んだ四曲と今回のためにつくった新作「流れの中で」さらに、同研究所を

新作「流れの中で」のテーマは「交差する生と死」。「わたしの以前に生きてきた多くの命たち、そしてわたしの後で生きて行く多くの命たち。わたしはその命たちをつなぐために生きている」——



「PORTRAIT」(撮影：中野良彦)



「メッセージ」(撮影：中野良彦)

「わたし」とは個人のわたしではなく、今を生きているすべての人のこと——このことを念頭につくられました。これが、他の四曲も含

め今回の公演の一貫したテーマとなっています。

藤田さん作品の「メッセージ——」には、同研究所の小中学生の生徒も参加します。六甲山のヤマンバから使命を受けた使者たちが、息絶えていた福島の土の神を見つけて出し、草に託し、神が息を吹き返したのを見届けて草は木に託します。木の力を得て動き始めた神が立ち上がるためにはもう一つの力——人間の力が必要。そして、神は立ち上がり……

阪神・淡路大震災から二十年、東日本大震災・福島原発事故から四年がたとうとするいま、注目される公演です。

(行事案内欄参照)